

年	組	名前
---	---	----

豊後高田市



7月に常勤小児科医が着任する高田中央病院＝豊後高田市新地

常勤小児科医着任へ

7月から市内常駐は4年ぶり

豊後高田市新地の高田中央病院小児科に7月1日付で、大分大学医学部から派遣の常勤医が着任することが4日、分かった。市内の小児科医は現在、同病院の非常勤医2人のみ。診察は週2回のため、小児医療の充実が課題となっていた。4年ぶりとなる常駐小児科医を、子育て世代は歓迎。「今まで宇佐市や中津市の病院に行くことが多かったので助かる」と喜んでいる。

豊後高田市は、2009年に市内唯一の民間小児科病院が閉院。10年3月に高田中央病院が小児科を開設し、同大学から非常勤医の派遣を受けてきた。ただ、常勤医不在は「子どもが急に発熱したら不安」など子育て世代の大きな関心事。同病院は市や市医師会などと連携し、同大学に常勤医の派遣を要請。市内で小児医療をテーマにした公開講座などを開き、機運を高めてきた。

今回、着任する常勤医は1人で、非常勤医の派遣も継続する。診察は日曜、祝日以外で、時間は午前9時から午後5時半までを予定。時間外診療はしない。滝上茂理事長は「大学が派遣してくれることに感謝したい。市の医療態勢にとっては大きな一歩。今後は時間外診療が課題になると思う」と話した。市ウェルネス推進課は「子育て支援を重点課題に掲げている市としては、大変ありがたい」としている。

(2013年5月5日朝刊12面)

豊後高田市の高田中央病院小児科に、大分大学医学部から派遣の常勤医が着任することになりました。

①豊後高田市内の小児科医の現状は？

.....

.....

.....

.....

③なぜ常勤小児科医がなかなかいないのでしょうか。考えてみよう。解決のためにはどうあるべきか、話し合ってみよう。

.....

.....

.....

.....

②常勤医不在で、これまでどんな課題、不安がありましたか。

.....

.....

.....

.....